

とちぎ
2006

県政のあゆみ

2007年 3月号別冊

2007年3月1日発行

編集・発行：栃木県広報協会

県のホームページ

<http://www.pref.tochigi.jp/>





不審者情報を積極的に公表

子どもの安全確保対策

県警察本部は「不審者情報マップ」を、県警ホームページ上に1月から掲載しています。ホームページ内に表示された地図上の市町村をクリックすると、そこで発生した「声かけ」「不審車両」などの発生日時や場所、不審者の特徴などの情報が表示されます。また、県内の全ての警察署は、不審者情報を希望者に直接メール配信する「地域安全情報提供システム」を整備し、4月から情報提供を行っています。

地域安全情報メール配信

簡単登録で不審者情報をメール配信中！

市町村名をクリックしてください

市町村一覧		
宇都宮市(25件)	足利市(3件)	栃木市(5件)
佐野市(12件)	嵐滔市(3件)	日光市(6件)
小山市(6件)	真岡市(7件)	大田原市(1件)
矢板市(5件)	那須塩原市(13件)	まくら市(3件)
那須烏山市(2件)	下野市(1件)	上三川町(2件)
上河内町(2件)	河内町(1件)	西方町(0件)
二宮町(0件)	益子町(1件)	茂木町(1件)
市貝町(1件)	芳賀町(0件)	壬生町(0件)
野木町(0件)	大平町(0件)	藤岡町(1件)
寄丹町(1件)	都賀町(1件)	塩谷町(1件)
高根沢町(2件)	那須町(2件)	那珂川町(2件)

発生事象一覧		
声かけ(52件)	盗、ひかけ(20件)	下半身露出(22件)
暴行(16件)	盗難(5件)	手榴弾(1件)

市街地内の交通を円滑化

宇都宮水戸線睦町工区が開通

都市計画道路宇都宮水戸線睦町工区が1月23日に開通しました。同路線は、宇都宮市の中心市街地における東西交通を担う重要な幹線街道であるとともに、2車線で慢性的な交通渋滞が発生している県道宇都宮鹿沼線のバイパス道路ともなっています。今回の開通により、渋滞の解消はもとより、電線類地中化による景観の向上、県中央公園へのアクセス機能強化による災害など緊急時の安全な避難路としての役割も期待できます。



元気なとちぎづくりめざして

「特使」と知事とが懇談

「とちぎ特使との懇談会」を2月6日、東京都内で開きました。この日は、建築家の隈研吾さんから18人の特使が出席しました。懇談会では県政に関する意見や提言、栃木県に対する想いなど、さまざまな話題が話し合われました。席上知事は、とちぎの魅力を県内外にアピールするため、努力したいと話しました。懇談会はこのあと、6月に県内で、11月に東京都内で開き、とちぎ特使から県政への提言や助言をいただきました。





中国浙江省から林業調査団

3月22日、中国浙江省の呉（ウー）林業庁副庁長を団長とする5人の林業調査団が来県し、日光市足尾地区の治山現場をはじめ、さくら市のしいたけ菌床センター、県林業センターの木材研究施設などを視察されました。森林・林業分野における浙江省との交流は91年から続いています。今回は8年ぶりの来県となり、今後、より密接に林業・林業関係の友好交流を深めていくことを確認しました。

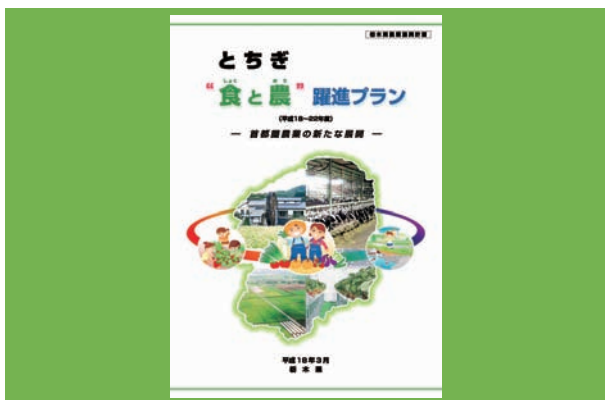
足尾の治山現場などを視察



「とちぎ元気プラン」スタート

新しい総合計画「とちぎ元気プラン」（計画期間06～10年度）が4月にスタートしました。この計画では「あらたな公を拓く」という考え方をこれからの「とちぎ」づくりの基本姿勢とするとともに「人づくり」を政策の基本に据え「人間力の向上」「子育て環境づくり」「個性あふれる地域づくり」の3つを、政策分野を越えて積極的に取り組む重点テーマとして掲げ、県民協働により元気で活力ある「とちぎ」づくりに取り組むこととしました。

元気で活力ある「とちぎ」に



「とちぎ食と農躍進プラン」を策定

新しい農業振興計画「とちぎ食と農躍進プラン」（06～10年度）を3月に策定しました。プランは、農業・農村の課題への対応、消費者の視点や環境との調和、健康的で豊かな食の提供をはじめ、地域の基幹産業でもある農業と、農村の持続的発展を図るため策定。県は、このプランを農政推進の基本的指針とするとともに、農業者、農業団体、消費者団体、市町村などとの連携・協力のもと、農業・農村振興の効果的推進に活用されることを期待しています。

首都圏農業の新たな展開へ



県立高校が新たにスタート

栃木翔南高など5校

5つの県立高校が4月に生まれ変わりました。栃木翔南高は藤岡高と栃木南高の統合校として、さくら清修高は喜連川高と氏家高の統合校として誕生。また、小山城南高は男女共学となり総合学科を導入、小山高も全学科が男女共学となりました。さらに、旧高根沢商高には普通科が設置され、高根沢高と校名が変わりました。各学校とも、地域に根ざした学校として、特色ある教育を行っていきます。



地域活性化に期待

基幹林道前日光線開通

日光林業地を縦断する「基幹林道前日光線」の鹿沼市草久から入栗野に至る延長約7.5kmの区間で93年度から進めていた道路改築工事が3月末までに完了し、2車線での開通となりました。これによって林業経営の効率化が図られるとともに「古峯神社」から「21世紀林業創造の森」前日光つつじの湯へのアクセスが容易になり、地域間交流の活性化や観光振興などへの効果も期待されています。



子どもの医療費助成制度を拡充

対象年齢の拡大や現物給付

県は、これまで乳幼児の医療費助成制度を実施していましたが、制度を見直し、4月からは、対象をこれまでの就学前のお子さんから、小学校3年生までに拡げました。また、特に育児の負担が大きい3歳未満のお子さんについては、窓口で支払いをしないで済む「現物給付方式」としました。なお、3歳以上のお子さんについては、自己負担をいただくことになりました。制度見直しに当たっては、持続可能で全市町村が足並みを揃えて実施できる制度とするともに、全国でもトップレベルの給付水準を確保しました。





プロ野球2選手に県民栄誉賞

渡辺俊介・石井琢朗両選手

千葉ロッテマリーンズの渡辺俊介選手と横浜ベイスターズの石井琢朗選手のお2人に栃木県民栄誉賞を贈呈しました。都賀町出身の渡辺選手は、06年3月のワールド



ベースボールクラシックにおける日本チームの優勝に大きく貢献されました。また、佐野市出身の石井選手は、日本プロ野球史上34人目、本県出身選手では初の2000本安打を達成されました。ともに広く県民に希望と活力を与えてくれたすばらしい偉業であり、その功績をたたえたものです。

高齢者の祭典が今年も盛況

ねんりんピックとちぎ

とちぎ健康の森や宇都宮市内の競技施設などを会場として、「健康・生きがいフェスティバル」(5月27、28日)と「スポーツ・文化交流大会」(同29日)を開催しました。俳優の村野武範さんによる記念講演が行われたほか、日本画をはじめとするシルバー作品展、卓球や太極拳など17種目の競技大会などが行われ、県内各地から参加された高齢者が日頃の鍛錬や努力の成果を披露しました。会場は地域や世代を越えた交流の場として盛り上がりました。





ロケの誘致や撮影に協力 県フィルムコミッション発定

映画やテレビなどの映像作品を通して本県を全国にPRするため、県内にロケを誘致し、さまざまな撮影協力を行う「栃木県フィルムコミッション」を5月に設置しま



©2007「檸檬のころ」製作委員会

した。これまでに、すべて本県内で撮影された映画『檸檬のころ』をはじめ、多数の作品のロケを支援しています。また、11月14日には、「設立記念フォーラム」を開催し、当フィルムコミッションの誕生を広くアピールするとともに、今後の活動への協力を呼びかけました。

県警察本部に県民相談室 相談機関の連携も強化

県警察本部は6月1日に県民相談室を設置し、県民から寄せられる相談の受付体制を強化しました。さらに11月1日には、相談への対応を充実させるため、相談窓口を持つ国や県、弁護士会などで構成する県民相談相互支援ネットワーク会議を開催しました。同会議は、各機関の情報の共有化、ノウハウの結集、相互の連携強化などを目的に発足しました。この日の会議では「適切な相談業務を推進するため、相互の連携強化が必要」であることを確認し、相互の連携強化を図ることを決めました。





自主的な防犯活動を推進

地域のリーダーを養成

「安全で安心なまちづくりリーダー養成教室」を、宇都宮市（6月）と小山市（7月）と那須塩原市（9月）で開催しました。同教室は、地域における自主的な防犯活動を推進するため、活動の中心となるリーダーの養成を目的に開催しました。各会場とも3日間のコースで行われ、防犯についての各種専門知識や子どもたちが犯罪の被害にあわない力を伸ばすのに有効とされている「地域安全マップ」の作成技術などの講義や実習を行いました。3教室あわせて134人が知事から修了証書の交付を受けました。



農村環境の保全・向上へ

シンポジウムで意見交換

07年度から本格実施される「農地・水・環境保全向上対策」の円滑な導入と対策を活用した元気な地域づくりについて、関係者をはじめ、広く県民の理解促進を図るため6月29日にシンポジウムを開催しました。農業者や消費者など306人の参加のもと、講演やパネルディスカッションを通して、本県の農村環境の素晴らしさや期待の大きさを再認識するとともに、将来にわたってこれを保全向上していくという力強いメッセージも発信されました。



森林環境税（仮称）の創設を

有識者会議が県に提言

本県の森林を県民全体で守り育てていく新たな仕組みを検討してきた「県民協働森づくりに関する有識者会議」から7月31日、知事に提言書が提出されました。提言書では、森林を、県民共有の財産として、社会全体で守り育てていく必要がある、その財源として、森林環境税（仮称）の創設が適当であるとしています。県では、これを受け08（平成20）年4月の税施行を目標に、県民の皆様のご意見をうかがいながら、具体的な検討を進めています。





シンガポールで農産物をPR

栃木県農産物フェア

伊勢丹シンガポールのスコッツ店で、7月19日～25日の1週間、「栃木県農産物フェア」が開催されました。シンガポールへの輸出の取り組みは今年度が初めてになりますが、今回は、ぶどう（巨峰）、たまねぎ、とうもろこし、ひめきゅり、なす、ねぎ（白美人）、アスパラガスの7種類を輸出し、同店で県産農産物の販売・PRをしました。試食を行った巨峰については、現地の消費者からも「甘い」と好評で、販売も好調でした。



知事が企業誘致のセールス

とちぎ企業サミット

本県への企業立地を促進するため、県外企業の役員クラスを対象に、知事自らが本県の魅力や立地環境をPRし、トップセールスをを行う「とちぎ企業サミット」を、大阪（7月10日）と東京（10月23日）で開催しました。意見交換の席では「栃木県が工業県でありながら豊かな自然と観光資源が豊富にある素晴らしい県であることを知った」などの声も聞かれ、サミット参加企業が本県への進出を決めるなどの成果を上げました。



食をテーマに真夏の祭典

農業青年の新たな取組

県内の農業青年で組織する県青少年クラブ協議会（会員427人）と県は、真夏の祭典「フレッシュユアーマーズフェスティバル06」を「宇都宮ろまんちっく村」で8月25、26日に開催しました。祭典では「食」をテーマとして、農業青年自らが生産した農産物や加工品を即売したり、かんびょうむき体験などを催しました。会場に訪れた3000人の来場者に自分たちの農産物などを通してクラブ活動をPRした農業青年たちは、確実な手応えを感じたようです。





親子で農業体験や保全活動

夢大地応援団ジュニア育成

農村の持つ豊かな地域資源を保全し、それらを健全に次世代へ引き継ぐには、未来を担う子どもたちがその役割や大切さを理解し、関心を高めることが重要です。そのため、8月から11月にかけて、休



耕田の復旧や水路の点検、そばの種まきや収穫、加工体験などを行いました。これらの活動により、子どもたちは食料を生産する農地や多面的機能を持つ農村の素晴らしさを肌で感じて、農地や農村は「農業生産活動などの継続を通して維持されている」ということを受け継いでくれました。

県と州との交流発展に合意

インディアナ州知事と懇談

福田知事は、県と姉妹交流しているアメリカ・インディアナ州を、9月7日から13日まで訪問しました。ミッチ・ダニエルズ州知事らとの懇談では、両県州の交流をさらに発展させることに合意しました。また、同時期に開催された第38回日米中西部会合同会議では、インディアナ州をはじめとするアメリカ中西部の9つの州知事や経済人に対して、産業や文化、観光など本県の魅力をPRしました。





生涯スポーツの祭典

延べ36000人が参加

9月16日、県総合教育センターで行った「総合開会式」に続き、10月7日に「レクリエーションフェスティバルin上都賀」、10月22日と29日には「県民スポーツ大会」を開催しました。県民スポーツ大会では市町対抗で25競技が、レクリエーションフェスティバルin上都賀では、ちびっこミニサッカーなどの大会が開かれ、延べ約36000人もが県民がスポーツに汗を流しました。07年2月には県民スポーツ大会ロードレース部門を開催しました。



雄大な眺望がさらに身近に

霧降高原有料道路が無料化

霧降高原有料道路が、9月26日から無料になりました。同有料道路は、県道路公社によって整備され、1976年9月25日に開通して以来、30年間の料金徴収期間が満了しました。沿線は、晴れた日には関東平野が一望できる展望スポットや、ニッコウキスゲが美しいキスゲ平など、多くの観光資源に恵まれています。無料化に伴い、観光の振興や地域の活性化とともに、日光市の地域間の交流・連携の強化がさらに進むものと期待されています。



小児医療の充実を目指して

自治医科大学に子ども医療センター

9月19日「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」がオープンしました。04年8月にオープンした「獨協医科大学とちぎ子ども医療センター」に続いて2か所目の施設となります。「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」は、これまで県内での手術が困難だった「先天性心疾患」や医療需要が増大している「発達障害」「精神・心理疾患」などに対する高度専門医療を充実させ、小児医療全般にわたる医療を提供しています。





熱い情熱を燃やして

県障害者スポーツ大会

9月24日、第2回県障害者スポーツ大会が県総合運動公園などで開催されました。この大会は、障害者の自立と社会参加を促進することを目的として開催される県内最大の障害者スポーツ大会です。当日は好天に恵まれ、2000人を超える選手が日頃の練習の成果を発揮しました。たくさんの方の応援を受けながら、陸上競技やフライングディスクなどの8種目の競技に汗を流しました。



100歳の宇賀地さんに祝詞 知事が長寿を祝い訪問

福田知事は、今年度に100歳を迎えた下野市在住の宇賀地スミさん(96歳)を9月16日に訪問し、長寿を祝いました。1906年(明治39年)生まれの宇賀地さんの健康の秘訣は「食べたいものを食べ、近所の人とおしゃべりをする」ことだそうです。この日は知事から祝詞と記念品が贈られました。なお、今年度(平成18年度)に県内で100歳になられる方は196人です。



住宅フェアに24000人

「環境共生」企画展も好評

「ひとに・まちに・自然にやさしく」をメインテーマに「とちぎ住宅フェア2006」をマロニエプラザ(宇都宮市)で10月13日から15日まで開催しました。今年で22回目を迎えた同フェアには約24000人が訪れ、好評のうちに終了しました。また、「環境共生」をテーマにした企画展示では、室内緑化、ガーデニング、外構工事による住宅緑化を提案し、各種催し物とともにフェアを盛り上げました。





「家庭の日」を条例に規定

県青少年健全育成条例

「栃木県青少年健全育成条例」を10月13日に全部改正しました。1976年に制定以来、本県の青少年健全育成に寄与してきましたが、近年の著しい社会環境の変化を受



け、新たに青少年健全育成の推進方策などを盛り込んだほか、規制の新設・強化を行いました。また、毎月第3日曜日の「家庭の日」を条例に定めました。親子のふれあいや絆を深めるため「家庭の日」には、主な県有施設の小人料金が無料になります。同条例は、07年4月1日から施行となります。

県政の課題をテーマに対話

各地で「元気フォーラム」

県民の皆さんと知事とが県政の課題などについて直接対話する「とちぎ元気フォーラム」を、作新学院大学（宇都宮市）で10月31日に開催しました。280人の若者が参加し、文化・スポーツをはじめ、安全・安心な地域社会や少子化・子育て・男女共同参画などについて活発な意見交換が行われました。06年は、県内10の地域と2つの大学で、あわせて12回開催し、延べ1597人の参加者から506件の貴重な意見や提案をいただきました。





全ての教育の出発点である家庭教育を社会全体で支える県民意識の醸成や環境づくりの推進を目的に、新たな取組として家庭教育支援のためのフォーラムを開催しました。10月2日、県央・県西地区(宇都宮市)に続き、12月2日に県東地区(芳賀町)、12月7日に県北地区(矢板市)で開催。家庭教育オピニオンリーダーや子育て支援団体などが集い、これからの家庭教育支援のあり方などについて意見を交換しました。07年2月には、県南地区で開催しました。

家庭教育支援へ意見交換 各地でフォーラムを開催



県営湯西川発電所(日光市)は、上流に建設中の国土交通省湯西川ダムの支障となるため、10月14日に廃止となりました。同発電所は、1960年12月の運転開始以来、46年にわたり発電を続けてきました。当時の電力需要増に対応するため造られた、最大出力3400キロワットの水力発電所として、県の所管するほかの8発電所とともに電力安定供給の一翼を担ってききましたが、その役目を静かに終えました。

県営湯西川発電所が廃止 電力の安定供給に貢献



県は、群馬県と両毛地域11市町と共同で「第4回両毛交流ウォーキング大会」を11月29日に開催しました。大会は、群馬県太田市で開かれ、各地から約1000人が参加しました。参加者は晴天のなか秋の太田市内を歩き、交流を深めました。この両毛地域では、公共施設の相互利用やホームページによる地域のPRなど、各市町が協力して活力ある地域づくりの推進に努めています。

両毛を活力ある地域に 共同でウォーキング大会



身近な水路はきれいですか

下水道フォーラム

「とちぎの水環境を創造する下水道」フォーラムを、県総合文化センターで11月2日に開催しました。基調講演では、作家の森詠氏が「水のある風景」をテーマに水の重要性を強く訴えました。パネルディスカッションでは、作新学院大学の青木章彦教授と元小川町長の渡邊良治氏が、「身近な水路の水質改善」のために必要なことを分かりやすく説明しました。県民のみならず、使った水に自ら責任を持つて下さることを願います。

熟練の技を若者へ

ものづくりフェスタ

「とちぎ ものづくりフェスタ 2006」を県立県央高等産業技術学校で11月16日に開催しました。このフェスタでは、熟練した技能が伝わりだすエネルギーを若者に伝えることを目的に、とちぎマイスターや技能五輪出場者によるデモンストレーションをはじめ、若年技能者が日頃の訓練の成果を競い合う技能競技大会などが行われました。また、誰でも参加できるものづくり体験教室も行われ、多くの来場者でにぎわいました。



慢性的な床上浸水の解消へ

大田原市で河川改修の竣工式

98年の那須水害時に、百村川の大田原市街地部を中心に大規模な氾濫被害が発生し、県ではこれらの状況を受け、県民の安全な暮らしを確保するため01年度から「床上浸水対策特別緊急事業」に着手し抜本的な改修を実施してきましたが、事業が完了したため、11月8日に大田原市美原公園内で竣工式を行いました。この改修事業の実施に当たっては、地元自治会などの意見を取り入れ、周辺自然環境の特性や景観に配慮するとともに、川とのふれあいや人々が集まりやすい川づくりを目指した整備を行いました。



環境にやさしい運転を体験

エコドライブ講習会

「エコドライブ講習会」を宇都宮市文化会館と周辺の公道で、11月3日に開催しました。この講習会は、11月の「栃木県エコドライブ月間」のイベントとして開催したもので、環境にやさしいエコドライブ（省エネ運転）の普及啓発を目的としています。この日は、実技実習と講義を通して、多くの参加者にエコドライブによる省エネ効果を体験していただきました。また、宇都宮市滝谷町交差点で「エコドライブキャンペーン」も実施し、ドライバーにエコドライブの実践を呼びかけました。

新技術や新製品を一堂に

産業フェアと知的財産フェア

新技術や新製品を一堂に展示紹介する「とちぎ産業フェア2006」を、マロニエプラザ（宇都宮市）で11月16日から18日まで開催しました。会場では、商談会や工作教室などの多彩な催しのほか、県内6大学による産学官連携コーナーでは、研究成果である「イチゴ摘みロボット」の実演が行われ、大いにフェアを盛り上げました。また「知的財産フェア」が同時開催され、知的財産を活用した製品や県内地域ブランドの紹介などが行われました。



青果物ビジネスを推進

ベジフルとちぎビジネスフェア

青果物産地と実需者とのビジネスマッチングを促進するためのフェアを11月15日に、さいたま市で開催しました。会場では29の産地などがブースを設置し、外食・中食産業や量販店などの実需者約300人との情報交換を行いました。開会に際しては、福田知事によるトップセールスや王貞治氏の次女で「野菜ソムリエ」として活躍している王理恵さんとのトークショーを行いフェアを盛り上げました。





大規模災害に備え連携強化 緊急消防援助隊が合同訓練

11月11日と12日に県内の消防本部と関東ブロック各都県の緊急消防援助隊による合同訓練を、県総合運動公園などで行いました。この訓練は、大規模な災害が本県で



発生し、県内の消防本部だけでは対応が困難な場合に、応援を要請された緊急消防援助隊との相互連携の強化のために実施しました。本県では初めての訓練で、各都県から200部隊、721人が参加し、本番さながらの消防活動を展開しました。

文化祭でこころの交流 カルフルとちぎこころのつどい

11月9日から10日の2日間にわたり、障害者文化祭「カルフルとちぎ2006こころのつどい」が開催されました。文化祭には県内各地から多くの障害者の方が参加し、日頃の文化・芸術活動の成果を発表しました。また、多くの人と一緒にイベントに参加するなど、心の交流を深め、障害者福祉についての理解と関心を深めていただくことができました。



美しい景観づくりを推進

県マロニエ建築・景観賞

栃木県マロニエ建築・景観賞の表彰式を、11月22日に県総合文化センターで行いました。今回は、同賞の建築文化部門に「株式会社ナカニシ CNC 旋盤工場」、人にやさしい建築物部門に「宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス」が選ばれました。また、奨励賞に建築物3作品、景観1作品が選ばれました。表彰式終了後には、県景観アドバイザーである陶芸家の島田恭子氏による記念講演会が行われました。



3県の音楽隊が合同演奏

県警察音楽隊定期演奏会

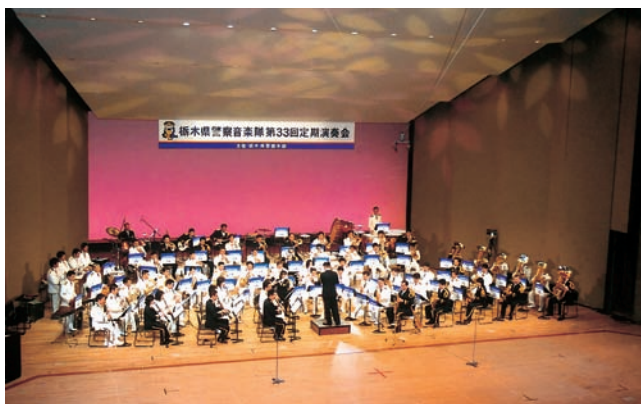
県警察本部は、県総合文化センターで県警察音楽隊第33回定期演奏会を11月15日に開催しました。この日は、本県の警察音楽隊のほか、茨城、群馬両県の警察音楽隊も参加。それぞれ特色のある演奏や、カラーガード隊、ダンサーによる華やかな演技が行われました。第2部では北関東3県合同による迫力ある演奏が行われ、観客から盛大な拍手が送られました。



統計功労者などを表彰

県統計大会

第44回県統計大会を11月15日、県総合文化センターで開きました。大会では、統計功労者と統計グラフ県コンクール入賞者などの表彰を行い、統計の普及啓発と、県内の統計関係者の志気高揚を図るとともに、大会参加者の決意を表す大会宣言が満場の拍手で採択されました。



農産物の知的財産を活かそう

県農産物知的財産戦略を策定



農産物のブランド化には「とちおとめ」などの優れた品種や生産性の向上を図るための画期的な栽培技術などが必要であり、これらの「知的財産」と農業の振興は密接な関係にあります。このため県では、「知的財産」を「創造」「保護」「活用」の3つの視点からの具体的な推進方策を示した『栃木県農産物知的財産戦略』を策定しました。今後は、戦略の実現に向け、県、農業者や農業団体などそれぞれの役割に応じた取組を推進し、さらに魅力ある農産物などの提供を目指します。

食育で心も体も元気に

とちぎの食育元気プラン



県民一人ひとりが生涯にわたり健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性を育むため、12月にとちぎの食育元気プランを策定しました。このプランでは「食を大切に

にする心を育てること」や「規則正しい食事の習慣を築くこと」など5つの基本目標を掲げ、各種施策を展開します。特に、子どもの食育は重要なことから「しっかりと食べて元気なとちぎっ子」のスローガンのもと、朝食をしっかりとる運動などに重点的に取り組んでいきます。

5月	10 市町村長会議	
	13 県植樹祭・とちぎグリーンフェア（那須塩原市）	
	14 県立中高一貫教育校に関する説明会（20日、21日）	
21 県看護大会		
6月	1 不法投棄パトロール出発式	
	1 農産物等輸出セミナー	
	3 とちぎ県民カレッジ開校式	
	10 県民の日記念行事（11日まで）	
	10 とちぎ木の県推進大会（「県民の日」と共催：11日まで）	
	12 米国インディアナ州高校生受入（20日まで）	
	15 県民の日記念式典	
	16 県食品表示ウォッチャー委嘱式	
	21 「FOOD TAIPEI 2006（第16回台北国際食品展）」出展（台湾・台北市24日まで）	
	25 男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	
	25 夏の海と山観光展（さいたま市26日まで）	
	27 「やすらぎの栃木路」九州キャンペーン（28日まで）	
	28 地域ブランドフォーラムinとちぎ	
	30 「やすらぎの栃木路」横浜キャンペーン（7月2日まで）	
	7月	3 本県関係国会議員と知事とが懇談
		7 交通安全子供自転車県大会
		10 「やすらぎの栃木路」大阪キャンペーン（12日まで）
12 「やすらぎの栃木路」北陸キャンペーン（福井県、石川県）（13日まで）		
12 第55回全国ナシ研究大会栃木県大会		
15 「栃木県なかがわ水遊園」5周年記念式典		
18 品目横断的経営安定対策推進大会		
19 「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会		
19 「やすらぎの栃木路」北陸キャンペーン（新潟県、富山県）（20日まで）		
19 とちぎブランド農産物の輸出		
8月	24 福島・茨城・栃木・群馬・新潟の5県知事が会談	
	25 ふれあい活動高校生のつどい	
	1 都市計画道路古峯原宮通り（下田工区）が開通（鹿沼市）	
	2 愛鳥週間ポスター原画コンクール表彰式	
	7 水の週間行事「水の講演会」	
	9 鬼怒グリーンパークにパークゴルフ場がオープン（河内町）	

2006 県政のあゆみ

1月	16 地方税電子申告システム「eTAX（エルタックス）」運用開始
	17 第4回総合計画懇談会
	17 農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
	28 男女共同参画地域連携フォーラム
2月	28 国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会（本県選手団を北海道に派遣）（2月1日まで）
	1 アグリライフフォーラム2006
	3 バイオマス利活用シンポジウム
	6 第4回農政審議会
	6 県農業青年研究大会
	8 県文化振興大会
	8 第2回県民協働森づくりに関する有識者会議（今市市：7月までにあわせて5回開催）
	12 栃の葉国体記念「第23回健康マラソン大会」
	13 緑化関係表彰式
	15 総合計画「とちぎ元気プラン」を策定し公表
3月	15 「やすらぎの栃木路」仙台キャンペーン（17日まで）
	16 人権講演会inパーティ
	17 とちぎ花フェスタ2006inかめま
	18 父親の子育て参加促進講演会
	19 国民体育大会冬季大会スキー競技会（本県選手団を群馬県に派遣）（22日まで）
	21 地域教育力活性化フォーラム
	25 男女共同参画地域連携フォーラム
	“とちぎ“食と農”の躍進プラン策定”
	10 米国インディアナ州への高校生派遣（23日まで）
	28 国会等移転の3候補地の8府県で全国会議員要望活動を実施
4月	1 独協医科大学日光医療センター開院
	1 介護サービス情報の公表制度開始
	13 春季苗木配付会
	20 「やすらぎの栃木路」フェア・イン・インディ（茂木町）（22日まで）
	21 道の駅「みかも」供用（藤岡町）
	21 旅フェア2006（千葉市）（23日まで）
	29 道の駅「思川」供用（小山市）

	23 とちぎ企業サミット（東京都）
	24 高校生友好交流団浙江省派遣（11月1日まで）
	25 不法投棄防止のつどい
	27 県児童生徒発明工夫展覧会（29日まで）
	28 ふるさと栃木フェア2006（29日まで）
	29 夢大地フォーラム2006の開催
11月	2 県文化功労者表彰式
	3 「第14回台北国際旅行博」参加（6日まで）
	7 第2回栃木県食育推進計画懇談会
	11 とちぎ教育振興大会
	14 「栃木県フィルムコミッション」設立記念フォーラム
	16 「とちぎデザイン大賞」展示会（18日まで）
	17 第6回産業教育フェア（那須塩原市18日まで）
	18 消費者フォーラム（宇都宮市）
	18 県子ども読書活動推進フォーラム（佐野市）
	20 栃木県職業能力開発促進大会
	21 県きのこ・わさび展示品評会（22日まで）
	22 環境にやさしい米づくり推進講演会
	25 ヒューマンフェスタとちぎ2006（26日まで）
	25 「アミークスフェスティバル」（26日まで）
	25 「やすらぎの栃木路」フェア・イン・バルーン（茂木町）（26日まで）
	25 栃木県技能展（26日まで）
	26 交通安全県民大会
	26 冬の旅・早春の旅観光展（さいたま市）（27日まで）
	27 中国旅行エージェント関係者等招請事業（12月1日まで）
	27 県高齢者虐待防止フォーラム
	28 とちぎマーケティング戦略2006（東京都）
	28 県農業担い手躍進大会
	30 県森林・林業コンクール等表彰式
12月	5 若手デザイナー夢事業制作デザイン発表会（展示会は7日まで）
	11 日光杉並木オーナー制度10周年記念事業「日光杉並木街道写真コンテスト」表彰式（展示会14日～18日）
	19 県芸術祭表彰式
	27 都市計画道路宇都宮水戸線（宿郷工区）が開通（宇都宮市）

8月	9 第1回県食育推進計画懇談会
	18 道の駅「湯西川」供用（日光市）
	28 政策懇談会
	30 「映画と講演のつどい」（人権に関する強調月間行事）
9月	3 もくもくまつり2006
	5 「第62回東京インターナショナルギフト・ショー」出展（8日まで）
	5 県民福祉のつどい
	8 救急医療週間記念大会
	8 公衆衛生大会
	11 香港旅行エージェント等招請事業（16日まで）
	12 児童虐待に関するシンポジウム
	13 「若者ジョブチャレンジクラブ」開講（宇都宮市）
	15 県芸術祭（11月23日まで）
	20 秋の交通安全週間行事「交通安全の火」分火式
	26 「やすらぎの栃木路」新宿駅西口フェア（29日）
	27 とちぎマーケティング戦略2006（セールスレップ交流会）（東京都）
	30 国民体育大会本大会（本県選手団を兵庫県に派遣：10月10日まで）
10月	3 レッツBuyとちぎ認定商品展示会
	3 観光とちぎエキスカーション（4日まで）
	4 県発明展覧会（6日まで）
	4 「やすらぎの栃木路」仙台キャンペーン（6日まで）
	7 とちぎインターナショナル・フェスティバル2006
	7 とちぎグリーンフェスタ2006（とちぎわんぱく公園・壬生町15日まで）
	8 女性の海外研修（15日まで）
	10 「那須ナンバー」出発式
	11 「若者ジョブチャレンジクラブ」開講（日光市）
	13 県伝統工芸品展（15日まで）
	13 仕事と家庭の両立支援セミナー
	14 第24回栃木県花と緑と公園のつどい（とちぎわんぱく公園）（壬生町）
	14 「中国華北地域栃木県企業人会」設立（遼寧省大連市）
	14 東京食肉市場まつり2006（15日まで）
17 県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式	
18 県優良木材展示会（鹿沼市など：27日まで）	
18 とちぎの食を考える集い	
21 県酪農フェア2006	